

科目コード	R6029	科目名	内部障害理学療法治療学				
履修区分	必修	開講期	3年前期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	馬屋原 康高						
授業の概要	呼吸器疾患、がんなど内部疾患の病態と基本的な理学療法評価および治療（介入方法）について学修する。また、症例を通して病態に適應する理学療法評価項目の立案やICFに沿った障害像の構築過程を問題解決型学習（PBL）形式で学修する。						
DPとの関連	平和を希求する心と豊かな人間性を身につける						-
	修得した専門知識・技術を基盤にした総合的臨床能力を身につける						
	高い倫理観をもち、自己を変革しつづける能力を身につける						
	地域社会・国際社会と協働し、人々の健康生活のニーズに対応できる能力を身につける						
到達目標	COPDの基本的な理学療法評価の項目を5つ以上列挙することができる。 COPDの基本的な理学療法プログラムや生活指導方法について5つ以上列挙することができる。 がんの病期に適應した基本的な理学療法の内容を説明できる。 吸引の適應やリスクについて説明できる。						
履修上の注意事項	・出席確認はC-learningで行います。 ・講義を欠席した場合、確認テストや課題が実施できないため評価点に影響することを予めご承知おきください。 ・スマートフォン等のカメラ機能を使用した黒板やスライドの撮影は厳禁とします。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	オリエンテーション / 内部障害の理学療法とは				事後学修（1時間）	
	2	呼吸器疾患評価のための基礎知識				事後学修（1時間）	
	3	呼吸器疾患における血液データの特徴とその解釈				事後学修（1時間）	
	4	呼吸器疾患における画像所見の特徴とその解釈				事後学修（1時間）	
	5	COPDの呼吸理学療法 評価（理学所見）				事後学修（1時間）	
	6	COPDの呼吸理学療法 運動療法				事後学修（1時間）	
	7	COPDの呼吸理学療法 生活指導				事後学修（1時間）	
	8	確認テスト / COPD症例PBL				事前学習として第1回から第7回までの復習（1時間）	
	9	急性期の呼吸理学療法 評価				事後学修（1時間）	
	10	急性期の呼吸理学療法 治療手技・運動療法				事後学修（1時間）	
	11	神経筋疾患の呼吸理学療法 基本的評価および介入方法				事後学修（1時間）	
	12	重症心身障がいおよびNICUでの呼吸理学療法				事後学修（1時間）	
	13	摂食嚥下・誤嚥性肺炎の予防的呼吸理学療法				事後学修（1時間）	
	14	がんのリハビリテーション 病態の理解と評価				事後学修（1時間）	
15	がんのリハビリテーション 病期に応じた理学療法介入方法（PBL）				事後学修（1時間）		
成績評価方法	期末試験（70%）および講義内の確認テストや課題（30%）の点数によって評価する。 期末試験は、再試験までとする。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	PT・OT入門 イラストでわかる内部障害 上杉雅之 監修（医歯薬出版）					978-4-263-26611-3	
参考書							
教員からのメッセージ	本講義を受講するにあたり、生理学、一般臨床医学、理学療法評価学、演習を復習して受講してください。						
教員との連絡方法	馬屋原までお問い合わせください。 西風新都キャンパス、研究棟4階401号室 メールアドレス：uma@hcu.ac.jp						
実務経験のある教員	呼吸理学療法およびがん患者に対する理学療法の経験を有する教員が講義いたします。						